

令和3年4月7日

公益財団法人徳島新聞社会文化事業団

代表理事 米田 豊彦様

謹啓

春分の候、貴事業団におかれまして、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より学生の研究活動のご支援にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびは、「徳島新聞生命化学分野研究支援金」を頂きまして、誠にありがとうございます。また、おかげさまで、令和2年8月には、博士研究に先んじて行った研究「回復期リハビリテーション病棟の高齢入院患者の転帰不良に関連するリスク因子分析」の成果が、原著論文「[Predictive factors associated with poor outcome of elderly inpatients in the convalescent rehabilitation ward]と題して、The Journal of Medical Investigation の67巻、304-310頁に掲載されました。さらに、令和2年12月末には博士研究の成果を「Association Between the Swallowing Reflex and the Development of Aspiration Pneumonia in Patients with Dysphagia Admitted to Long-term Care Wards -A Prospective Cohort Study of 60 Days-」という題目で国際誌 Archives of Physical Medicine and Rehabilitation へ投稿し、現在、査読対応中であります。これもひとえに、貴事業団のご支援あつての成果でございます。このあと、支援金の残りは修正論文の再校正と、掲載された際には掲載費にあてさせていただきます。残り少ない大学院生活ではございますが、この度いただいたご支援を糧に研究活動に力を注いでまいります。今後とも学生の研究活動へのお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴事業団のますますのご繁栄をお祈り申し上げます。

なお、収支を同封させていただきまますので、ご査収のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

徳島大学大学院口腔科学教育部

博士後期課程3年

大村 智也